

白山砂防 工事と出水 の被害



(1) 柳谷第15號砂防堰堤施工箇所上流、石材採取場に於ける積雪除去の状況、六月中旬の撮影である。

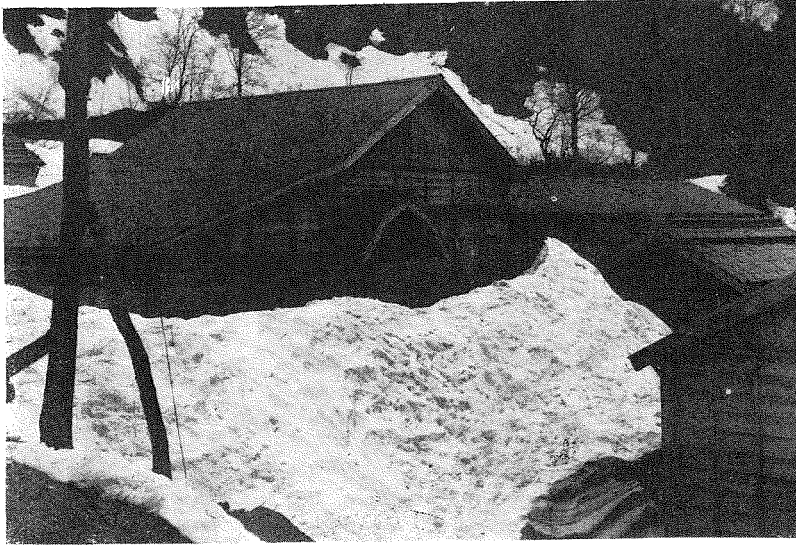
北越地方の工事

新潟市に於ける鐵道
協會總會に出席して

北越の水都、新緑の柳の街たる新潟市に於て、帝國鐵道協會第三十二回定時總會は、五月二十六日、白山公園の傍なる白山小學校の雨天體操場に於て開催された。

東京を主として内地殖民地の各方面より出席せる會員五百餘名に及び、杉浦會長司會の下に事業報告、會計報告、役員改選等ありて後、新潟縣宮脇知事の新潟港に就て、鐵道省信濃川電氣事務所長釘宮啓氏の信濃川水力發電に就ての講演ありて、總會は無事午前中に終了した。

尙總會出席者は二十六日夜六時より同市の豪華食堂イタリヤ軒に於て盛大なる懇親晚餐會を催した。翌二十七日は市内視察の後、午後六時より新潟劇場



(2) 白山砂防工場事務所残雪の状況、四月下旬の寫眞である。如何に積雪に悩まされてゐるか 窺はれよう。此事務所は石川県白峯村大字白峯にあつたが、九年秋の洪水で流失した(寫眞4及7参照)



(3) 昭和九年九月九日白峯村風嵐地内に於ける手取川の出水状況。

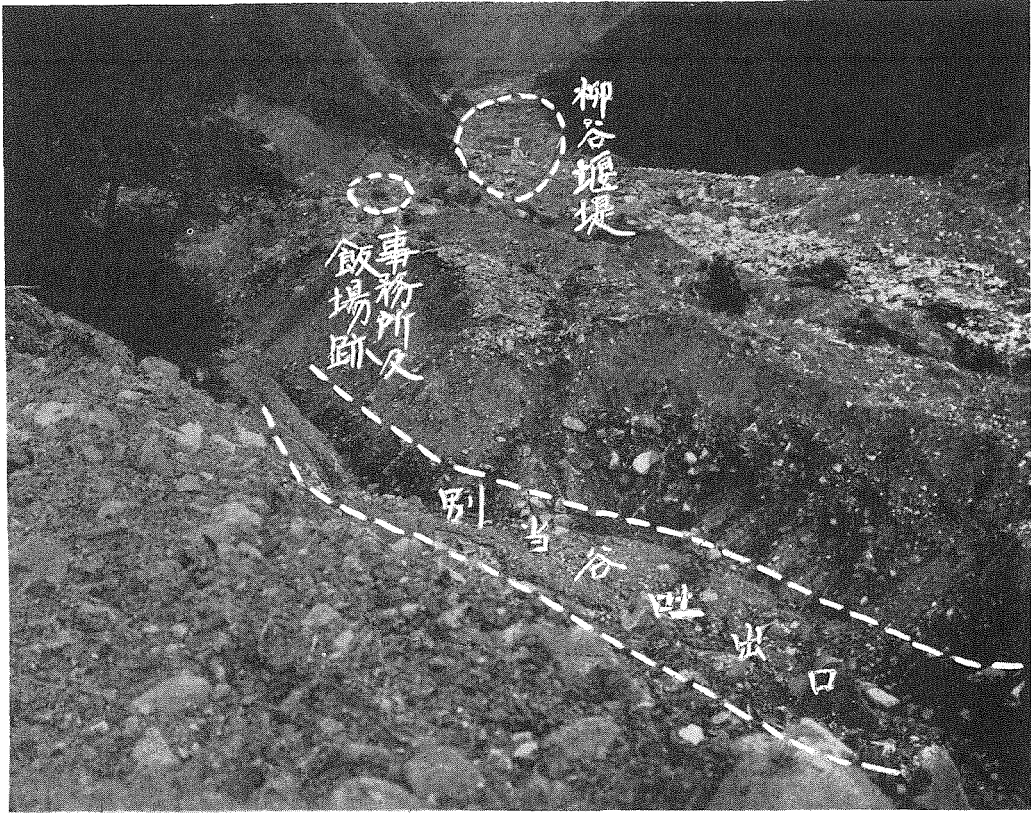
に於て新潟縣、新潟市、新潟商工會議所聯合の招待晩餐會に臨み、兩夜とも新潟藝者數百名のサーヴェスにて、郷土情調を満喫の有様であつた。

次いで二十八日より佐渡視察班と富山、岐阜視察班とに分れ各地を視察し、夫々の郷土情調に送迎されながら三十日に總會の行程を無事終了した。

尙記者は今回信越、北陸方面等視察の便宜を與へられたる内務省新潟土木出張所及び新潟縣土木部の好意を感謝しつつ、然も時間の都合で充分なる見學

をなす事の出来なかつた事を遺憾とするものであるが特に伊藤所長及び荒木部長の好意により主要工事寫眞の一部を得たるを以て茲に掲載する次第だ。

北越から北陸地方にかけては目下各種の土木工事で賑つてゐるが、先づ第一に見るべきものは鐵道省の信濃川水力發電工事である、其の第一期工事はすでに央ば近く進工してゐる。次は日本電力會社の黒部川水力發電工事であらう、水量は信濃川に及ばないが落差が大なる爲、出力は七萬キロに達する、其



(4) 昭和九年秋の出水跡、寫眞4及7に見る事務所及飯場は跡方もなく、わづかに砂防堰堤 寫眞6が残つたのみである。

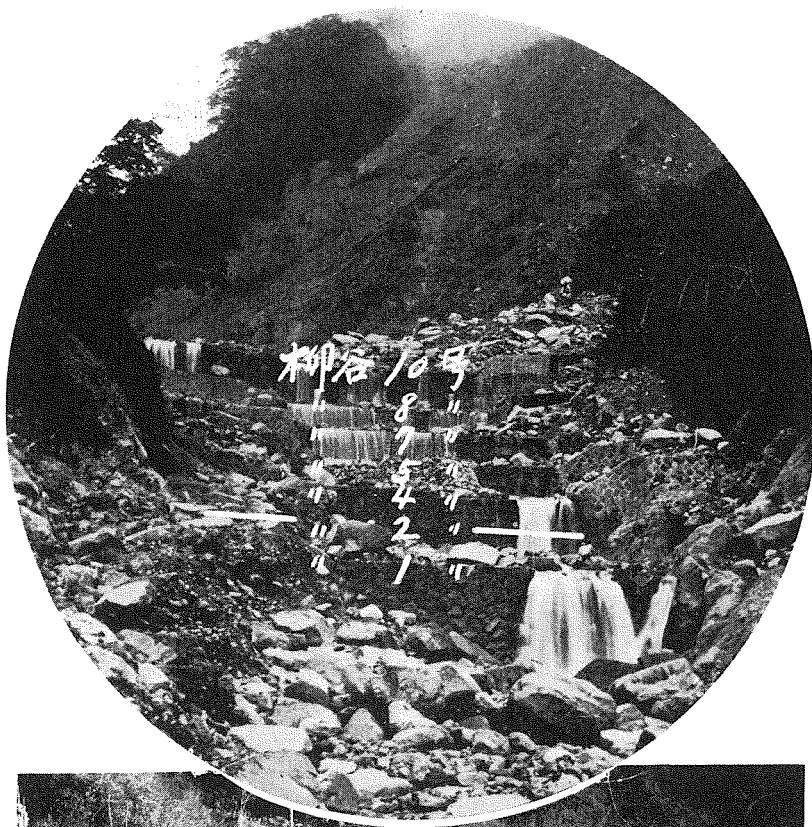


(5) 此地方の洪水になると寫眞の如き巨岩が押流される。現場は湯谷で、石は9間×8間の大きさ、立つてゐる人物と比較されたい。

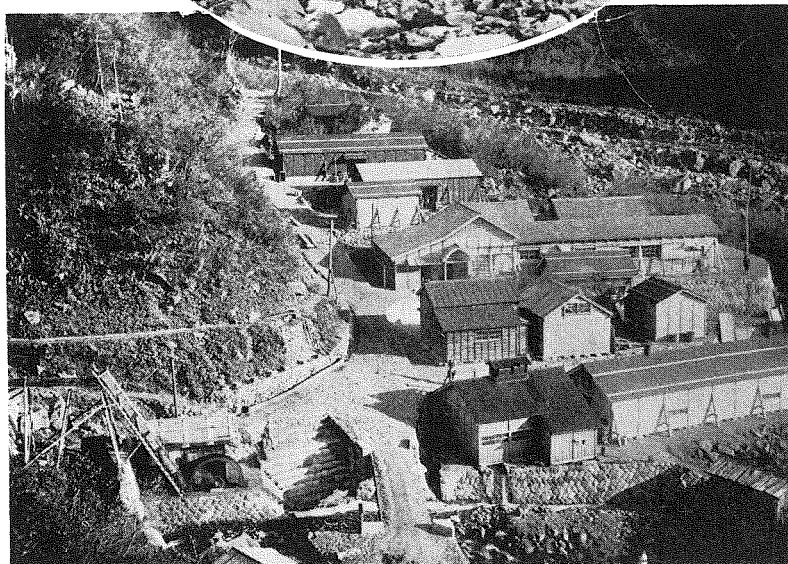
の工事は今秋迄が最盛期であらう。其他に内務省の常願寺川筋の砂防工事（特に砂防堰堤）は注目すべきものである。

北越から北陸地方は有名な雪國であるだけに工事

期間が少い、随つて四月頃から十一月頃までが一年中の工事繁忙期である。長岡建設事務所の小林所長も北越工事の特殊事情を強調してゐられたが、鐵道ばかりではない、内務省新潟土木出張所の伊藤所長



(6) 昭和九年秋の出水後に於ける柳谷階段堰堤、下流より縣營の柳谷第1,4,5號堰堤、内務省直營の柳谷第7,8,10號堰堤。



(7) 白峯村白峯字白山、比咩神社奥宮境内にあつた事務所及飯場、左方の下は發電所であつたが、何れも九年秋の洪水で流失した。

も砂防工事、河川改修工事、道路工事など何れも雪には悩まされてあるとの事であつた。

内務省關係の工事としては富山縣の常願寺川上流の立山附近に工事中の白岩堰堤は、我國に於ける砂

防堰堤としては最大のもので工費も200萬圓餘を要する大工事である。少し下流に本宮堰堤と云ふのが目下盛に工事中である。本宮堰堤は富山縣から内務省へ委託された工事で、工費約50萬圓の砂防堰堤で